

**銅・アルミレポート**

橋本アルミ株式会社取締役  
**橋本 健一郎**



**1月のアルミ概況及び2月の見通し (1)**

**予想レンジ**

現物後場買い 2,800 ~ 3,300 ドル ☀️  
スクラップ +5 ~ +10 円 (前月最終価格より) ☀️  
為替 155 円 ~ 160 円 変わらず  
(1か月間TTM)

**アルミ3,000ドル定着局面へ！  
金融マネーが需給を上回る**

**■国際概況**

2026年1月のLMEアルミ相場は、金融要因と供給懸念が拮抗する展開となっている。

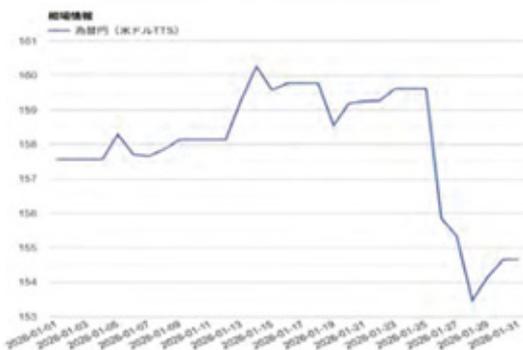
上昇要因は、米国のインフレ鈍化を背景とした利下げ観測によるドル安進行で、非鉄金属全体に投資資金が流入している点に加え、中国の年初インフラ投資再開や電力関連需要への期待が相場を下支えしていること。

一方、下落要因は、世界景気の減速懸念が根強く実需回復が鈍いこと、さらに中国を中心とした生産能力回復や在庫積み上がりへの警戒感が上値を抑えている点である。結果として1月のアルミ相場は方向感に欠ける推移となっている。

**■前月の経済指標**

**◆月間のドル/円レート (TTS)**

157.86 → 154.66 (円)

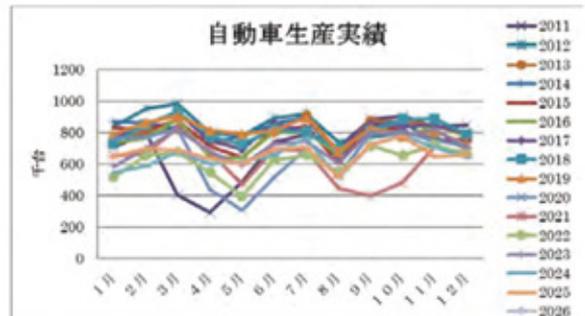


**■国内指標**

**◆自動車生産**

生産動態統計によると、12月の自動車生産台数は、前年比+1.7%の65万6,562台。輸出は、前年同月比-6.7%の34万6,165台。

	10月	11月	12月
生産台数	77万6072台	64万9096台	34万6165台
前年比	-0.2%	+7%	-6.7%

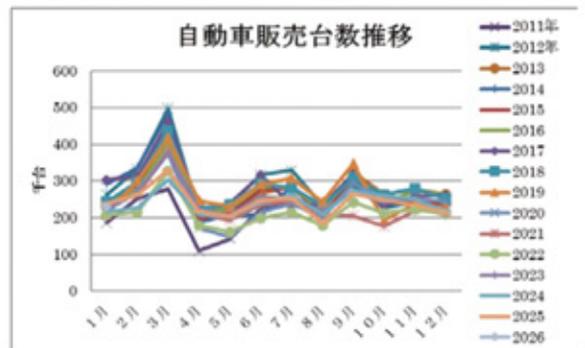


出典 生産動態統計

**◆自動車販売**

日本自動車販売協会連合会によると、1月の自動車販売台数(軽除く)は、前年比-4.2%の22万8,832台。

	11月	12月	1月
販売台数	23万4715台	21万1909台	22万8832台
前年比	-6.1%	-3.3%	-4.2%



出典 日本自動車販売協会連合会

**◆住宅着工戸数**

12月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.3%減の減少。分譲住宅は増加したものの、持家と貸家が減少した影響を受けた。同月は、季節調整済年率換算値で前月比7.3%の増加となった。

(つづく)

